



平成29年度高知県児童生徒表彰

2月4日、高知県民文化ホール(オレンジホール)で、高知県教育委員会主催「平成29年度高知県児童生徒表彰 表彰式」が行われました。本事業は、高知県内の小中学校などの児童生徒について、他の児童生徒の模範となる活動や功績が顕著なものを表彰し、その努力と成果をたたえるという目的で、毎年行われているものです。県内から個人の部で188名、団体の部で77団体が表彰され、町内からも次の方が表彰されました。

表彰区分		氏名	所属
部門	種別		
その他 (「高知家」児童会・生徒会 サミット実行委員会)	団体	井上 詞葉さん・竹中 楓さん・濱町 菜那さん	窪川小学校
ボランティア	団体	吹奏楽部	窪川中学校
芸術(作文)	個人	久保田 聖那さん	窪川中学校
スポーツ(水泳)	個人	宮地 桃さん	窪川中学校
スポーツ	団体	男子バスケットボール部	窪川中学校
ボランティア	団体	音楽部FAIRY PITTA JAZZ ORCHESTRA	大正中学校



▲窪川中

平成29年度高知県「南海トラフ地震に備えよう!!」  
啓発ポスター・標語コンクール

高知県では、子どもたちの防災に対する意識の向上を図ることを目的として、「南海トラフ地震への備え」についてのポスターや標語を募集しました。応募総数ポスター部門618点、標語部門1,753点のうち、町内の小学校から3名が受賞されました。受賞作品については、ポスターを電車やバスに掲示し、標語については、ラジオなどで放送する予定です。

ポスター部門(佳作)



川口小学校  
みやざき しおり  
5年 宮崎 菜里さん

標語部門(佳作)

固定家具 命を守る 第一歩



興津小学校  
たにむら しおね  
4年 谷村 汐音さん

標語部門(優秀賞)

地域での 心のきよりは 命を守る



窪川小学校  
たけよし かほ  
6年 武吉 香保さん

季節の風景 3月

なごり雪

♪ 汽車を待つ君の横で僕は 時計を気にしてる  
季節はずれの雪が降ってる

フォークグループ「かぐや姫」の伊勢正三さんが作詞・作曲した「なごり雪」の歌詞の一部です。1974年3月、かぐや姫のアルバム「なごり雪」の収録曲として発売され、オリコンアルバムチャート1位に輝きました。

2013年に日本気象協会が選定した「季節のことば36選」で、3月の言葉の一つに「なごり雪」が選ばれました。「この曲を発表した当時、なごり雪という言葉は存在しなかった。勝手にこんな言葉を作られては日本語の乱れを助長する。『名残の雪』に変えたらとまで言われたが、作り手としては(への)はどうしても入れたくなかった。曲はヒットしたがモヤモヤは残った。あれから40年近くたって気象協会の(季節のことば)に選ばれたと聞き、胸のつかえが下りた気分」と、伊勢正三さんは当時語られています。

そして、1975年11月、イルカの歌によるカバーバージョンがシングルとして発売され、大ヒット曲となったのはご承知の通りです。それ以降も50名近くの歌手によって毎年のようにカバーされ、現在でも多くの人々に親しまれています。

再びの名残の雪と思ひけり 高木晴子

今月の

人をつなげる場所を作りたい!



▲上海留学中の綾香さん

昨年5月に、ゲストハウス40010をオープンした松本さんは、金上野の出身。窪川小・中から県立中村高校を経て神戸女子大学へと進み、大学卒業後は、兵庫県で、小学校の臨時教員となりました。綾香さんのお母さんも小学校の教員をしていたこともあって、幼い頃から「自分も教員になるのかなあ」と考えていたそうです。

臨時教員4年が過ぎた頃、綾香さんは、1年間上海へ留学することになるのですが、そ

こで運命の出会いが!!留学中に知り合った福建省出身の男性と現地で結婚!!綾香さんは留学修了とともに、夫を伴って帰国。夫の知人が神戸にいたこともあって、神戸市内で再び臨時教員に。そして1年の任期を終え、昨年、ふるさと四万十町に帰ってきました。

綾香さんは、帰郷と同時にゲストハウスのオープンに取りかかりました。ふるさとでゲストハウスをやるうと思った動機を聞いてみました。「もともと、人と人をつなげる場所を作りたいと思っていました。あらゆる人です。地域の内外、国内外、内と外だけではなく、内と内、外と外、全てです。宿泊施設を作りたいと思ったからではなく、宿泊施設にした方が、じっくりつながり合えると思うんです」さらに「幼い頃から、



まつもと あやか  
松本 綾香さん  
(浜ノ川)

ふつうにお遍路さんを見てきましたが、県外へ出て、お遍路さんって珍しいんだなって思いました。そんなお遍路さんを大切にしたというか、お遍路さんのためにも宿泊施設があるといいなあと考えたのも動機のひとつです」と語ってくれました。

綾香さんは、帰郷して気づいたことがあります。「私、こんなにイナカの出身なのに、窪川の街中で育ったので、まともに畑仕事をすることがなくて...。去年の夏は、はじめて自分で育てたキュウリが毎日収穫れるのでびっくりしました(笑)」